

平成30年度三重県教育改革推進会議の審議内容について

1 基本的な考え方

「三重県教育ビジョン」（計画期間：平成28～31年度）について、これまでの取組の進捗をふまえて、今後必要な方策について審議をしていただき、後半2年間の取組に活かします。

また、現行ビジョン策定以降の社会情勢の変化や、国の教育改革の動向などをふまえて、新たに取り組むべき課題や見逃してはならない視点を中心に、委員の皆様のそれぞれのお立場からご意見をいただき、その中で特に重要と思われる項目について審議を深め、次期「三重県教育ビジョン」（仮称）の策定につなげます。

2 今後のスケジュールと審議テーマ（案）

(1) 第1回 平成30年8月7日（火）

①「三重県教育ビジョン」の進捗状況をふまえ、今後の取組をより進めていくために必要な方策について

PDC Aサイクルに基づき、現行ビジョンの進捗状況をふまえてこれまでの取組を振り返り、今後の取組を一層進めるために必要な方策について審議を行っていただきます。

②これからの時代を生きる三重の子どもたちに必要とされる力と、その力を育むための学校・家庭・地域での取組について

今後予想される社会情勢の変化や教育を取り巻く状況の変化を見据えて、これからの三重の子どもたちにどのような力を育むことが必要で、そのためにどのように取り組んでいくかについて審議を行っていただきます。

(2) 第2回 平成30年10月9日（火）

第3回 平成31年1月15日（火）

第1回会議の審議をふまえ、現行ビジョンの推進に必要な事項、次期ビジョンの策定に必要な事項からテーマを選定し、審議を深めていただきます。

<テーマの例>

①確かな学力について

- ・知識・技能を活用する力や課題発見・解決能力を育成するためには
- ・学習指導要領の改訂に伴う小中学校における英語教育の充実や道徳の特別教科化

②豊かな心の育成について（自己肯定感、自己有用感、人間関係構築力）

- ・発想力、創造力等を育み、他者への思いやり、対面でのコミュニケーションを通じた人間関係を築く力を身につけるためには

③人口減少社会における県立高等学校の活性化について

- ・生徒数の減少が進む中、多様な学習ニーズに応じて学校の魅力を高めることで、生徒・保護者から「選ばれる学校」となるためには

④キャリア教育について

- ・学校での学習と自分の将来や社会とのつながりを見出し、自らの生

き方や働き方について考えを深め、学ぶ意欲を高めるためにどのような取組が必要か

⑤多様な教育課題への対応について（特別支援、いじめ、不登校、日本語指導が必要な児童生徒への対応等）

・子どもたちが安心して学校生活を送り、意欲的に学ぶことができる教育環境をつくるためにどのように取り組むか